



キャリアナビゲーター通信 Vol.4

キャリア × 校外学習 事前学習

校外学習に向け、よりよい行動や話し合い活動をしていくには、どうしたらよいかを考えるキャリア学習を実施しました。「無人島SOS」、「人間コピー機」、「こんなとき、あなたならどうする？」の中からクラスに合った内容を行いました。

無人島SOS

無人島から脱出するために必要なものをアイテムリストから上位5つを選び、理由を含めて考え、最終的にグループの意見を1つにまとめて発表する活動を行いました。

「脱出する」という目的は共通であれ、そのために必要だと思うアイテムや、選んだ理由は、一人ひとり異なります。**異なる意見同士でも、互いの意見を聞き合い、尊重しながら1つにまとめていくためには、どのような工夫が必要か振り返りました。**

<アイテムを5つ選び、理由を考えるワーク>

グループの考え			グループの考え		
順位	必要なもの	必要だと思う理由	順位	必要なもの	必要だと思う理由
1位	毛布	寒さをしのぐため。場合によっては燃やして火をつけることができるから。	1位	マッチ	• 明るくしたり暖かくしたりできる。 • 火で食べ物を焼いたりできるから。
2位	のこぎり	なんでも切れるし家など作ることができるから。	2位	ナイフ	• 食べ物を切ることができるから。
3位	テント	自分で作らずねどこが作れるから。	3位	テント	• 虫がはいつくこないから。 • 寝れるから。
4位	お茶	水を沸騰させてきれいな飲み水を作ることができる。料理にも使えるから。	4位	毛布	• 体温調節ができるから。 • 寒い時に活躍するから。
5位	マッチ	すぐに火をつけることができるから。100回分あるから。	5位	お茶	• お湯代わりになる。 • 食べ物を温めたり、水を煮沸できたりするから。

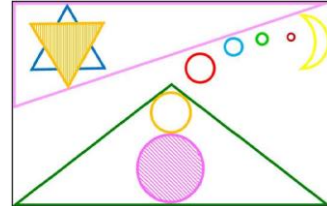
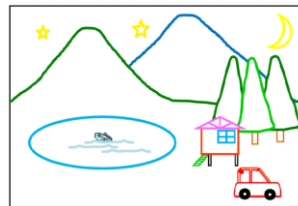
人間コピー機

グループ対抗で、廊下に貼り出された絵に最も近い絵を描くことを目指す活動です。

絵を描く人を決め、それ以外の人が一人数ずつ廊下に絵を見に行き特徴を伝えることで絵を完成させます。

絵の特徴を伝える人は、**どうやったら適切に伝わるかを考え、**絵を描く人は、**何を聞いて確認すればよいかを考え、**グループで工夫し合いながら進めました。

<廊下に貼りだされた絵>



こんなとき、あなたならどうする？

学校や普段の生活の中で、判断に迷う場面で、自分だったらどのような発言や行動をするかを考え、グループで共有しました。

同じ場面でも人によって発言や行動が異なり、なぜそのような発言や行動をしたか、その理由を共有しながら、**互いの意見や価値観の違いを受け止め合いました。**

<ケースワーク（発言や判断に迷う場面）>

ケース3

校外学習で持ってきてはいけないお菓子を班の子がこっそり持ってきた。「一緒に食べよう」と言われたが、事前指導で先生からも注意されていたし・どうしよう。

- なんて言う？行動する？
- その理由

キャリアナビのつばやき



校外学習での飯ごう炊さんでは、**班員とコミュニケーションをとって協力をしなければならぬ場面が多く、また、当日までの班決め・役割決めではお互いの意見を尊重し合いながら決めていく必要がありますね。**

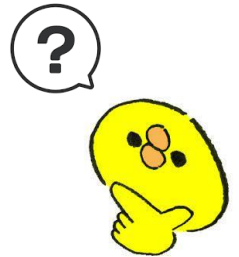
今回の授業で、学んだことを踏まえて今後の活動に取り組みましょう！
そこで意識できたこと、行動に移せたことは、皆さんが大人になっていくためにとても大切な経験(キャリア)となります。



グループで活動するときに必要なことは？

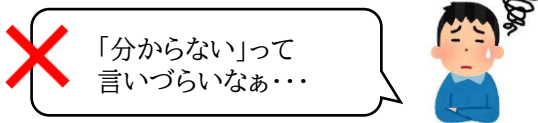
突然ですが、皆さんに質問です。グループで大きな成果をあげるために最も大切な要素は、どれだと思いますか？

- 1 優秀な人がいること
- 2 リーダーシップをもつ人がいること
- 3 誰もが安心して発言できること
- 4 厳しい罰やルールがあること
- 5 たくさんの仕事量をこなせること

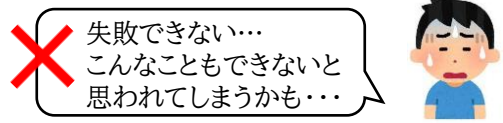


実は、Google社の「プロジェクトアリストテレス」という研究によると、大きな成果をあげるグループに共通していたことは、「**3 誰もが安心して発言ができること**」だったそうです。逆に言えば、以下のような不安を感じる雰囲気があると、誰もが安心して発言ができなくなってしまい、グループの活動に悪影響がでてしまいます。これらの不安を感じることをないグループの雰囲気づくりが大切です。

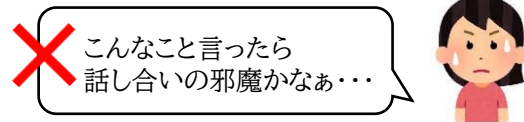
無知だと思われる不安



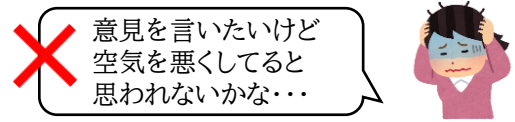
無能だと思われる不安



邪魔をしていると思われる不安

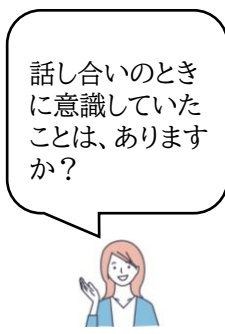


ネガティブだと思われる不安



では、どうしたらこういった不安を抱えることなく、誰もが安心して発言をすることができるのでしょうか？この研究の中では、次の4つのことをグループ皆で意識することが大切とされています。

1 話しやすさ 「何を言っても大丈夫」 	2 助け合い 「困った時はお互い様」
3 挑戦 「とりあえずやってみよう」 	4 新奇歓迎 「異能、どんと来い」



心理的安全性4つの因子 石井遼介(2020)心理的安全性のつくりかた「心理的柔軟性」が困難を乗り越えるチームに変える 参照

校外学習を含め、今後もクラスやグループなど集団で活動する場面は多くあります。ぜひ上記のことを意識しながらグループ活動に取り組んでみてくださいね！



上記の話を踏まえて、もし皆さんが「話し合いをするときのお約束(合言葉など)」を3つつくるとしたら、何にしますか？考えてみましょう！
※例:「それ、いいね!」(話しやすい雰囲気になる合言葉)など

